

参考資料 5 . 語句の解説

あ行

アクセス	目的地や目的の施設等へ行く経路。
アプローチ	目的地や目的の施設等へ行くこと、近づくこと。本計画では、アクセスと同じ意味で用いています。
アンケート調査	社会のいろいろな事柄や人々の意見などを調べるために、関係者等に一定の質問形式で意見を問うこと。 今回の計画策定においては、川西市内の高齢者、市民、障害者に、バリアフリー整備に関する質問が書かれた調査票を配布し、意見を頂きました。
イベント	行事。催し。
NPO (Non Profit Organization)	ボランティア団体等営利を目的としない非営利の民間団体のうち、特定非営利活動促進法による特定非営利法人。 保健・医療・福祉、社会教育、まちづくり、文化・芸術・スポーツ、環境保全、災害救援、国際協力等の分野に該当し、不特定かつ多数の者の利益増進に寄与することを目的とする活動（特定非営利活動）を行うことを主たる目的としています。
横断勾配	道路上の降雨等の排水を考慮し、車道（歩道）の横断方向に設けた傾斜の割合。例えば、幅3メートルで3センチメートル（0.03メートル）の高低差による傾斜が設けられた歩道では、横断勾配は1%（0.03メートル / 3メートル × 100）となります。
オストメイト	人工肛門や人工膀胱の利用者のことで、体外に装着して排泄物をためておくパウチ（袋）等を体外に装着しているため、これを定期的に手入れする必要があります。

か行

階段の段鼻	階段の路面端部。
キャスター	家具、ピアノなどの脚につける、方向が自在に変わる小さな車輪のことで、車いすの前輪（車いすの前側に付いている方向を変える小さな車輪）もキャスターと呼ばれています。
グレーチング	道路等の排水施設等の路面部分にかぶせる鋼板製、ステンレス製の溝蓋。

高速サービス	鉄道の高速サービスとは、特急、急行、準急など、通常の電車速度による運行よりも速く運行するサービス。
交通結節点	異なる交通手段(場合によっては同じ交通手段)を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ施設。具体的な施設としては、鉄道駅、バスターミナル、駅前広場などが挙げられます。
高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律（通称：ハートビル法）	病院や劇場、デパート等、不特定多数の者が出入りする建築物において、高齢者や身体障害者等が円滑に利用することができるよう、エレベーターを設置するなどのバリアフリー化を促進する法律。
コミュニティ道路（歩車共存道路）	歩道設置による歩車分離をしない道路で、車に減速をうながす工夫（道路に突起を設けて減速させる等）によって車と歩行者の利用を図る道路。
コンパクト	無駄を省いて小さくまとめてある、簡潔な仕様。

さ行

サイン	視覚に訴える極めて基本的な表現手段のことであり、本計画では目的地や目的物の所在等を示す、看板、表示板、案内板、屋外広告塔などを指しています。
サポート	支えること。支援すること。また、その支援。
視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）	視覚障害者を誘導するために床面や路面等に敷設される棒状、点状の突起をもった床材等のこと。
縦断勾配	車道（歩道）の見通し可能区間（100メートル以下）における縦断方向の傾斜の割合。例えば100メートル先の舗装面が1メートル高くなっている歩道では、縦断勾配は1%（1メートル / 100メートル × 100）となります。
ストッパー	扉や機械等を静止させる装置。
スロープ	階段等の段差がある箇所において、車いすやベビーカー、高齢者などの安全な通行のために設ける緩やかな傾斜路。
セミフラット型	歩道面が車道面より高く、縁石天端（縁石の最上端）の高さが歩道面より高い歩道構造。

総合計画	まちの未来の姿を想定し、それを計画的に実現していくための計画のこと。地方自治法（第2条第4項）において、市町村が議会の議決を経て「基本構想」を定め、これに即して、行政運営を行うべき旨が規定されています。
ソフト	ハードが施設に関するものであるのに対して、人、システム、制度など主に運用に関するもの。
ゾーン	地帯。区域。範囲。

た行

待避スペース	歩行者や車いす等と自動車のすれ違い、追い越し等のために設ける空間のこと。特に、連続した歩道の設置が困難な道路においては、歩行者の安全確保のため、所々に待避スペースを設けることが望ましい。
ターミナル	鉄道やバスなどの起点・終点にあたる駅、停留所のこと。多くの鉄道、バスが乗り入れている駅は、ターミナル性が高く、川西市では川西能勢口駅が、阪急電鉄、能勢電鉄が乗り入れており、また市内の各地からバス路線が乗り入れていることから、最もターミナル性の高い駅と考えられます。
都市計画マスタープラン	都市計画法（第18条の2）に定められている「市町村の都市計画に関する基本的な方針」の呼称であり、市町村がその創意工夫のもとに、市民の意見を反映して、都市の将来のあるべき姿や都市づくりの指針を定める計画のこと。

な行

ニュータウン	新しい都市。特に大都市の近郊等に住宅地として計画的に建設された新しい都市。
ノーマライゼーション	高齢者や障害者であっても、ごく普通の生活を営むことができ、かつ差別されない社会をつくるという基本理念。
ノンステップバス	高齢者や身体障害者が乗降しやすいように、車両の床の高さを低くし、ステップなしで乗降できる、車いすは車体側からスロープを出すことにより段差なしで乗降できる仕様にしたバス。

は行

配分ウエイト	複数の施設やものを比較する際、何を重要視して、力を入れるべきかを決め、数値等で、その重要度や力点の差を明らかにすること。
--------	--

白杖	視覚障害者が歩くときに、障害物等を知覚するために用いる白色の杖。
ハード	道路や建築物、設備など主に施設に関するもの。
バリアフリー	建築物や道路などについて、移動の妨げとなっている段差や凹凸などの障壁（バリア）をなくすなど、高齢者や障害者に配慮した仕様にすること。
プラットホーム	鉄道駅で、電車の乗降に便利のように、線路に沿って適当な高さに築いた構築物（ホーム）のこと。
ペDESTリアンデッキ	自動車道路と立体的に分離した歩行者専用通路。 川西市では、川西池田駅と川西能勢口駅を2階部分でつなぐ歩行者通路が、このペDESTリアンデッキにあたります。
ボランティア団体	自発的にある事業に参加する人、特に、社会事業活動に無報酬で参加する人が集まる団体。

ま行

モデル地区	施設や整備等の標準、模範、手本、見本となる地区。
-------	--------------------------

や行

ユニバーサルデザイン	障害の有無や年齢、国籍、人種、性別等に係わらず、可能な限りすべての人が安心、安全、快適に利用できるように、あらかじめ設計や計画するという考え方。
------------	--

ら行

ルート	一定の所へ至る道筋、路線。
-----	---------------

わ行

ワークショップ	英単語の意味は、研究、集会、研修会、作業場。特定のテーマについて、みんなでアイデアを出しあう場。 今回の計画策定においては、重点整備地区（川西能勢口駅及び川西池田駅周辺地区）について、市民（高齢者、障害者、健常者）行政、交通事業者等と一緒に現地の点検調査を行い、バリアフリー整備について議論しました。
---------	---